セーブ・ザ・チルドレンの「2021 年行動誓約」

2021 年、セーブ・ザ・チルドレンは、子どもたちを児童労働から守り、安全に学校や学習に戻れるよう、プログラムとアドボカシーを強化します。そのために私たちは、子どもの保護と社会的保護の制度および対策の関連性、サプライチェーンの監視および改善メカニズムに焦点を当てるとともに、学習内容を把握・共有し、子どもの最善の利益を促進します。
これらの取り組みは、2025 年までにあらゆる形態の児童労働を終わらせるためのセーブ・ザ・チルドレンの貢献となります。

「2021 年行動誓約」をどのように実行するのですか

セーブ・ザ・チルドレンは 2021 年、児童労働の増加の中で最大の効果を発揮するために、既存のプログラム、キャンペーン、優先事項における「児童労働のレンズ」を強化します。特に注目すべきは、パートナーや政府と協力して、児童労働の問題への取り組みを含む子どもたちの学習へのアクセスの障壁に対処するセーブ・ザ・チルドレンの「Safe Back to School」イニシアティブです。また「Save our Education」キャンペーンも同様です。コミュニティにおける継続的な子どもの保護アプローチとケースマネジメントは、児童労働の増加リスクを検知し、対応する役割を持ちます。また、現金やバウチャーによる支援や社会的保護制度を適切に適用し、児童労働の防止に与えるインパクトを測定するための努力も行います。これらの取り組みはまた、企業が事業活動やサプライチェーンにおいて児童労働のケースに積極的に対処することを可能にする改善メカニズムの構築にもつながります。児童労働に対処するための統合的なアプローチを確保するためには、組織の主要部分が具体的なコミットメントを行う必要があります。これらのコミットメントは、2025 年までの成果の加速に向けて、関連するすべての分野のスタッフを動員し、児童労働の側面を、新規および既存の手段、研究提案、報告書、国別戦略計画およびアドボカシーに統合し促進することを目的としています。

2025 年までに児童労働を終わらせるために、「行動誓約」はどのように貢献しますか

この行動誓約は、新型コロナウイルス感染症の影響で何百万人もの子どもたちが児童労働に追い込まれ、20 年間の進捗が脅かされる可能性が高いことを背景に、組織全体で児童労働に取り組むセーブ・ザ・チルドレンの努力を後押しします。

セーブ・ザ・チルドレンは、2021 年に、家族の経済的な回復力とセーフティーネット、子どもたちの教育と学習へのアクセス、サプライチェーンにおける改善メカニズムの促進に焦点を当てます。これは、児童労働を終わらせるための根本的な貢献と学びを支援するものです。さらに、国やコミュニティレベルで子どもの保護システムを強化するための継続的な活動を通して、児童労働に取り組むための総合的なアプローチを確保します。

「2021 年行動誓約」について、どのように発信しますか

児童労働撤廃国際年は、子どもたちが大きな脅威にさらされているこの重要な時期に、政府、市民社会、民間セクターの関係者を結集し、子どもの権利と安全を守るために行動を起こす機会を提供するものです。セーブ・ザ・チルドレンは、共同プラットフォームやネットワークを通じて、パートナーと共に子どもの権利に関する成果を達成するための知識を共有・収集することを約束します。テーマ別の成果と知見は、記録され、アライアンス 8.7 と共有され、さまざまな説得力のある方法で発信されます。

実施の責任者は誰ですか

セーブ・ザ・チルドレンの行動誓約は、グローバルに展開されるもので、団体幹部によって承認されます。誓約の実施は、関連する分野の代表者で構成される児童労働撤廃国際年ワーキンググループによって推進・監督されます。